

各流域の減災に係る取り組み方針に基づく 対策の実施状況

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		立山町		舟橋村					
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
1. ハード対策の主な取組																			
■洪水を河川内で安全に流す対策																			
		・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策	U,T,V	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施													
					常願寺川:1.0km実施済	引き続き実施													
				防災拠点等整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施													
					検討中	引き続き実施													
■危機管理型ハード対策																			
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施													
					常願寺川:5.5km実施済	引き続き実施													
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備		O,P	・水防資材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討			
					【H29.5.31】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検	引き続き実施			・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H29.5.31】常願寺川・神通川の合同巡視時に確認 【H29.6.2】富山土木管内河川施設点検時に確認 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検時に確認	引き続き実施	常願寺川右岸水防市町村組合定例会において同組合所有資材内容報告	引き続き実施	情報収集中	引き続き実施			
				・新技術を活用した資機材等の整備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・新技術を活用した資機材の配備	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討			
					検討中	引き続き実施	【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検	引き続き実施			検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	情報収集中	引き続き実施			
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置		L,J	・簡易水位計、CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) 【H29.11.24】河川監視カメラ1台設置(立山土木)	H28年度から順次整備					・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。	引き続き実施					
					・【H28.10】常願寺川左岸8.4k、右岸9.7k簡易水位計設置 ・【H28.12】常願寺川左岸8.8k CCTV設置	引き続き実施	県管理河川(水位周知河川)において施工中	引き続き実施					検討中	引き続き実施					

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		立山町		舟橋村	
2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組															
■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組															
①常願寺川の水害の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布	A	・副教材の作成・配布	・常願寺川の水害の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布	順次実施	・常願寺川の水害の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布に協力する。	順次実施			・作成された副教材の配布に協力し、住民への周知に努める。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	
			・検討中	引き続き実施	・検討中	引き続き実施			未実施	順次実施	H19作成の浸水ハザードマップの内容を一部修正し再度配布(H28.7)	順次実施	今後実施	順次実施	
②小中学校等における水災害教育を実施	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。	引き続き実施	・水辺の楽校等川と触れ合う機会に水害教育等の実施を考えていく。	引き続き実施	・教育委員会、PTAとの協議の実施	引き続き実施	
			・【H28.12.9】富山工業高校生に出前講座を実施	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川【H28.6.21】立山北部小学校1年生ほか ・白岩川ダム【H28.9.30】富山市立上条小学校4年生 【H28.10.7】上市町立相ノ木小学校4年生	引き続き実施	・富山県教育会にて出前講座(気象全般)を実施	引き続き実施	今後要請に応じて実施	引き続き実施	参加	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施	
③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。	引き続き実施	・防災に関する出前講座の依頼がある場合、防災アドバイザーと協力してハザードマップ等について説明する。	引き続き実施	・広報、HP等	引き続き実施	
			【H28.9.25】町村自治会にて出前講座を実施 【H29.6.2】常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修にて講座を実施 【H29.9.23】常願寺川に関する防災シンポジウムで講演を実施	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川【H28.11.6】栃津川を愛する会(災害について) ・白岩川ダム【H28.8.25】立山町谷口地区町内会	引き続き実施	・気象台で水防法改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 ・立山町で自主防災組織を対象とした出前講座を実施	引き続き実施	防災に関する出前講座にて、水防災に関する説明を実施(37回)	引き続き実施	H29.9.23世界屈指の急流河川常願寺川防災環境シンポジウムを開催	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施	
④効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	順次実施	・広報、HP等	順次実施	
			H29.6プッシュ型配信開始チラシの作成・配布	引き続き実施	・検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	洪水情報のプッシュ型配信など、市の広報やHPを通じて市民の意識向上に努めた。	引き続き実施	チラシの配布協力	順次実施	継続して実施	引き続き実施	
⑤自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討			・国、県と共同点検に毎年参加	順次毎年実施	・河川管理者が実施する重要水防箇所等の共同点検に参画する。	順次毎年実施	・自治会との共同点検の実施を検討	順次毎年実施	
			【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施			【H29.5.31】常願寺川・神通川の合同巡視に参加し、共同点検を実施	順次毎年実施	共同点検に参加	順次毎年実施	継続して実施	引き続き実施	
⑥まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I	・まるごとまちごとハザードマップへの情報提供	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施			・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。	必要があれば検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討・ハザードマップの更新の際に検討	順次実施	
			・検討中	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			今後検討	必要があれば検討	未実施	必要があれば検討	今後検討	必要があれば検討	

[illegible]

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方气象台		富山市		立山町		舟橋村	
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組														
■情報伝達、避難計画等に関する取組														
④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H28年度から実施					・河川管理者などの関係機関との協議を行い、立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行う。	H29年度から検討	・集落が集落毎に1次集合場所、2次集合場所等を設定及び、垂直避難等ルート策定の重要性を啓発する。	H28年度から順次実施	・ハザードマップの更新時に検討	H28年度から順次実施
			【H28.6.20】・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を公表済	実施済					H30年度以降、洪水ハザードマップの更新の際など機会を捉えて、区域の設定や避難方法を検討	H30年度以降実施	集落へ啓発し、今後実施	引き続き実施	今後実施	H30年度以降実施
⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議し、検討する。	必要があれば検討	・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定する。	H28年度から順次実施	・地域防災計画の見直し等	H28年度から順次実施
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			H30年度以降、洪水ハザードマップの更新の際など機会を捉えて検討	H30年度以降実施	今後実施	H29年度以降実施	今後実施	H30年度以降実施
⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・洪水ハザードマップの更新を行う。	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	・ハザードマップを見直し、全戸配布する。	H28年度から順次実施	・ハザードマップの更新を検討	H28年度から順次実施
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			H30年度以降実施	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	今後実施	H29年度以降実施	今後実施	H30年度以降実施
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施										
			・検討中 システム改良済	引き続き実施										
⑧防災気象情報の改善	B	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供					・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度						
							【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始した。							

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方气象台		富山市		立山町		舟橋村			
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組															
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	
			【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習に参加	引き続き毎年実施	30年秋頃、町総合防災訓練にて実施	引き続き毎年実施	継続して実施	引き続き毎年実施	
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	L,M	・重要水防箇所の合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	平成27年度から毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施	・重要水防箇所について、水防団も参加し、国、県と合同で毎年実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施
				【H29.5.31】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H29.5.31】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き実施	【H29.5.31】常願寺川・神通川の合同巡視時に実施	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O,P	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	・水防団、国、県、自主防災組織など関係機関が参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き実施	・出水期前に水防協議会を実施する。	引き続き毎年実施	・防災訓練の計画を策定	毎年実施を検討
				【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加	引き続き毎年実施	【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き毎年実施	【H29.9.30】富山県総合防災訓練	引き続き実施	【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き実施	実施	H28.6 H29.6	継続して実施	引き続き実施
	④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	N,P	・水防団員の募集促進							・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	H29年度から検討	・広報誌やホームページで水防協力団体を募り、募集を実施	引き続き実施	・広報、HPでPRを実施	引き続き実施
										今後検討	H30年度以降	継続して実施	H29年度以降	今後検討	H30年度以降
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	O	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施
				H29年9.10月に水防技術基礎講座に参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加	引き続き実施	消防団(水防団)に周知	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施								
				・検討中	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施								
	⑦大規模水害を想定した常願寺川排水計画(案)の検討を実施	R,S	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H29年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討
				・検討中	引き続き実施	・検討中	引き続き実施			・今後検討	H30年度以降	・今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方气象台		富山市		立山町		舟橋村	
	⑧排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	Q	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報提供	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き毎年実施			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い、毎年確認する。	引き続き実施	・連絡体制の整備	引き続き実施
				【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施			【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.6.29】水門箇所の手合調査にて確認	引き続き実施	今後検討	H29年度以降	継続して実施	引き続き実施
	⑨関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Q	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から順次実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練の実施	引き続き実施	・町総合防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	・防災訓練と合同で実施を検討	順次実施
				【H29.4.21】定期訓練の実施	引き続き実施	【H29.5.27】富山市主催の水防訓練(場所:富山市水橋入江地先 常願寺川右岸 常盤橋下流)へ参加 【H28年度】北陸地方整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.7.28】富山防災センターにおいて、排水作業訓練を実施(作業従事者63名参加) 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度以降	継続して実施	引き続き実施
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組															
	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。	H29年度から検討	・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。	H28年度から順次実施	・地域防災計画の見直し等	H28年度から順次実施
				検討中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定	引き続き実施	【H29.2～H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	今後検討	H30年度以降	今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明	H29年度から検討	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から実施	・広報、HPでPRを実施	H28年度から実施
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			今後検討	H30年度以降	今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市				
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1. ハード対策の主な取組																
■洪水を河川内で安全に流す対策																
		・流下能力対策 ・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策 ・堤防整備	T,U,V	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施								
					神通川:3.7km実施済	引き続き実施	いたち川:護岸L=170m 山田川:護岸L=140m 太田川 護岸工L=80m 坪野川 鉄道橋架替工事1式	引き続き実施								
				・防災拠点等の整備の検討	防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施										
					検討中	引き続き実施										
■危機管理型ハード対策																
		・堤防天端の保護 ・裏法尻の補強	W	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	H28年度から順次整備								
					神通川:32.1km実施済	引き続き実施	山田川:L=176m	H28完了								
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備		O,P	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討			
				【H29.5.31】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.6.1】富山土木管内河川施設点検	引き続き実施			・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 【H29.5.31】常願寺川・神通川の合同巡視時に確認 【H29.6.2】富山土木管内河川施設点検時に確認	引き続き実施	今年度は合同巡視に出席できなかった。	H30年度から検討			
			・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・新技術を活用した資機材の配備	H28年度から検討	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討			
				検討中	引き続き実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.6.1】富山土木管内河川施設点検	引き続き実施			検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施			
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置		L,J	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所)	H28年度から順次整備									
				【H28.8】神通川井田川左岸5.6k、右岸6.0k簡易水位計設置	引き続き実施	【H29.1現在】県管理の支川(水位周知河川)において施工中。 【H29.3】河川監視カメラ4台設置	引き続き実施									

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市	
2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組												
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組												
①小中学校等における水災害教育を実施	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に 行っていく。	引き続き 実施	・出前講座等を活用した啓発を 積極的に 行っていく。	引き続き 実施	自治体の教育委員会と連携し、 効果的な水防の避難や訓練など 支援	引き続き 実施	・小・中学校から要望があった場 合、ハザードマップの周知や災 害情報の入手方法などの出前 講座を実施する。	引き続き 実施	・小中学校から要望があった場 合、過去に生じた水害状況の写 真パネルや資料提供を行う。ま た、出前講座の申込があれば対 応する。	引き続き 実施
			【H28.12.6】桜谷小学校にて出前 講座(ハザードマップ)を実施 【H28.12.9】富山工業高校生に講 義 【H30.1.17】大沢野小学校にて出 前講座(現地見学)を実施	引き続き 実施	検討中 県管理河川、ダムにお いて小学校等に説明会 を開催している。	引き続き 実施	富山県教育会にて出前講座(気 象全般)を実施	引き続き 実施	未実施 今後要請に応じて実施していく。	引き続き 実施	小学校1校に水害状況の写真 パネル等を貸し出した。	引き続き 実施
②出前講座等を活用し、水 防災等に関する説明会を開 催	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講 座等を積極的に 行っていく。	引き続き 実施	・出前講座等を活用した啓発を 積極的に 行っていく。	引き続き 実施	関係機関と連携して効果的な対 応に協力	順次実施	・町内会や自主防災組織から要 望があった場合、ハザードマップ の周知や災害情報の入手方法 などの出前講座を実施してい る。	引き続き 実施	・出前講座の活用を積極的に働 きかける。	引き続き 実施
			【H28.6.24現在】富山市羽根地区 にて出前講座を実施 【H28.11.24現在】富山市草島地 区にて出前講座を実施 【H29.9.24】富山市有沢新町にて 出前講座を実施	引き続き 実施	検討中 県管理河川、ダムにお いて説明会等を開催し ている。	引き続き 実施	・気象台で水防法改正や新しい 気象情報についての勉強会を 実施 ・自主防災会や防災士等を対象 とした講演会を実施	引き続き 実施	防災に関する出前講座にて、水 防災に関する説明を実施(37 回)	引き続き 実施	風水害をテーマとした出前講座 を16地区で実施 (H28年4月～H30年2月)	引き続き 実施
③効果的な「水防災意識社 会」の再構築に役立つ広報 や資料を作成・配布	H	・「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や 資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度 から実施	・「水防災意識社会」の再構築に 役立つ広報資料を作成、HPへ の掲載等(協議会で作成)	順次実施	関係機関と連携して効果的な対 応に協力	順次実施	・国や県が作成する「水防災意 識社会」の再構築に役立つ広報 や資料を配布	引き続き 実施	・市広報紙面に記事を掲載し市 民への啓発を図る。	順次実施
			H29.6プッシュ型配信開始チラシ の作成・配布	引き続き 実施	検討中	引き続き 実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き 実施	洪水情報のプッシュ型配信な ど、市の広報やHPを通じて市民 の意識向上に努めた。	引き続き 実施	H29.5 広報:避難情報・気象情 報収集等に関する啓発 H29.6 CATV:風水害時の対策 (備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き 実施
④自治会や地域住民が参 加した洪水に対するリスクの 高い箇所の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共 同点検	・重要水防箇所等の共同点検を 実施	H27年度 から毎年 実施	・重要水防箇所等の共同点検の 実施	H28年度 以降検討			・国、県と合同で毎年実施	順次毎年 実施	・河川管理者と自治会や地域住 民で重要水防箇所等の共同点 検を実施する。	順次毎年 実施
			【H29.5.31】沿川市町、沿川自治 会と共同で重要水防箇所等の 点検を実施	引き続き 実施	【H28.6.8】沿川市町、沿川自治 会と共同で重要水防箇所等の 点検を行った。 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治 会と共同で重要水防箇所等の 点検を実施	引き続き 実施			【H29.5.31】常願寺川・神通川の 合同巡視に参加し、共同点検を 実施	引き続き 実施	今年度は合同巡視に出席できな かった。	H30年度 から検討
⑤まるごとまちごとハザード マップを整備	D,F I	・まるごとまちごとハ ザードマップへの情報提 供	・市町村が作成するまるごとまち ごとハザードマップへの情報提 供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資 料となる浸水想定区域図の公表	H28年度 から順次 実施			・ハザードマップ見直しの際に実 施の必要性について検討する。	必要があ れば検討	・ハザードマップ見直しの際に検 討する。	順次実施
			検討中	引き続き 実施	想定最大規模降雨による洪水 浸水想定区域図を作成中	引き続き 実施			今後検討	必要があ れば検討	平成31年度にハザードマップの 見直しを予定しており、対応につ いては検討中	引き続き 実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市		
		⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	・自助・共助の促進のための普及啓発。自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援			自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士の資格を取得するための補助金の交付	引き続き実施	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。	順次実施
							自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	・富山県総合防災訓練会場となった富山市に対し、訓練等への支援実施 ・総合防災訓練を実施の射水市に対し、総合防災訓練への支援実施	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士資格取得のための補助金交付を実施 ・防災士による防災講座の実施（富山県防災士会との協働） ・地域の防災リーダー育成研修を実施（富山県防災士会との協働）	引き続き実施	・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 ・【H28.8.21】櫛田地区で市総合防災訓練実施	引き続き実施
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組														
■情報伝達、避難計画等に関する事項														
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	G,H,I,J	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンの活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供。 ・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き検討	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達（ホットライン）を実施	順次整備	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。	順次整備	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を56局（親局を含む）から113局に増やし、一斉放送による音達エリアを拡充する。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送で配信するシステムを整備する。	順次整備
					・【H28.3】よりスマートフォン向け機能を追加し、運用開始 ・H29.5.1より配信開始	引き続き実施	【H28.8.1】新たな富山県総合防災システムの運用開始。 【H30.2.15】河川情報システムの更新	引き続き実施	【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ情報文、電文の変更を実施した。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達（ホットライン）を実施	引き続き実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備を進めている ・SNSやスマートフォンアプリについて広報やHPでの普及を推進 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信の開始を広報やリーフレットの回覧により市民周知を図った。	継続して整備を行う	9月26日から順次運用開始。 H29年2月に工事完了	整備済
		②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善	C	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施	富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係機関と情報共有し、タイムラインの整備に努める	引き続き実施	・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直しなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	順次実施
					タイムライン作成済 今後出水後の検証及び改善を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	台風接近時に防災気象情報を発表し改善、修正点を抽出し、関係機関と調整	引き続き実施	タイムラインを作成	引き続き実施	検討中	引き続き実施
		③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	D,E,F	・洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・神通川、西派川、井田川及び熊野川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H28年度から順次実施						
					【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施						

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市		
		④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H28年度から順次実施			・河川管理者などの関係機関との協議を行い、立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行う。	H29年度から検討	・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が必要なエリアを検証し、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルを見直す。	H28年度から順次実施	
				【H28.6.20】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域図を公表済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			H30年度以降、洪水ハザードマップの更新の際など機会を捉えて、区域の設定や避難方法を検討する	H30年度以降実施	指定緊急避難場所施設の想定最大規模における浸水深を検証	引き続き実施	
		⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議し、検討する。	必要があれば検討	・参加市町村で連携し広域避難に関する検討を行う。	H28年度から順次実施	
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			H30年度以降、洪水ハザードマップの更新の際など機会を捉えて検討する。	H30年度以降実施	検討中	引き続き実施	
		⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			洪水ハザードマップの更新を行う。	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H28年度から順次実施	
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			H30年度以降実施	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	
		⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施									
				検討中 システム改良済	引き続き実施									
		⑧防災気象情報の改善	J	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供					・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度				
									【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始した。					
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組														
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組														
		①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町村と共同で情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	
				【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習に参加	引き続き実施	【H28.4.21】 【H29.4.27】水防連絡会にて確認	引き続き実施	

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市	
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	L,M	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施	・重要水防箇所について、水防団も参加し、国、県と合同で毎年実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施
				【H29.5.31】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H29.5.31】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き毎年実施	【H29.5.31】常願寺川・神通川の合同巡視に参加し、共同点検を実施	引き続き実施	今年度は合同巡視に出席できなかった。	H30年度から検討
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O,P	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き毎年実施
				【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加	引き続き毎年実施	【H28.5.28】富山市主催の水防訓練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き毎年実施	【H29.9.30】富山県総合防災訓練	引き続き毎年実施	【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き実施	【H28.6.10】【H29.6.20】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施
	④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	N,P	・水防団員の募集促進							・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	H29年度から検討	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き実施
										今後検討	H30年度以降	ホームページ等で消防団員の募集を行っている。	引き続き実施
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	O	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施
				H29年9.10月に水防技術基礎講座に参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加	引き続き実施	【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施						
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施						
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組													
	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の支援	引き続き実施	・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。	H29年度から検討	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施
				検討中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施	引き続き実施	【H29.2～H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	今後検討	H30年度以降	【H30.2.9】対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。 【H30.2.15】対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始	引き続き実施
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明	H29年度から検討		
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			今後検討	H30年度以降		

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市	
2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化												
■救援・救助活動の効率化に関する取組												
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E,R	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・河川管理者などから情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定	H29年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施		今後検討	H30年度以降	検討中	引き続き実施	
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施												
①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	R,S	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討
			H29年度に排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施中	引き続き実施	検討中	引き続き実施		検討中	H30年度以降	検討中	引き続き実施	
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	S	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施
			【H29.4.27】水防連絡会にて確認【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認【H28.5.27】洪水対応演習を実施【H29.4.27】水防連絡会にて確認【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き実施		【H29.4.27】水防連絡会にて確認【H29.6.29】水門箇所の合同調査にて確認	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】水防連絡会で連絡体制の整備、情報の共有化を実施	引き続き実施	
③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	T	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練の実施	引き続き実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施
			【H29.4.21】定期訓練の実施	引き続き実施	【H28.5.28】富山市主催の水防訓練(場所:富山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上流)へ参加【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施		【H29.7.28】富山防災センターにおいて、排水作業訓練を実施(作業従事者63名参加)【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き実施	【28.9.30】【28.10.21】【29.9.29】【29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	

減災のための取組項目（素案） （概ね5年間）					北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	課題 の 対応	目標 時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1. ハード対策の主な取組																							
■洪水を河川内で安全に流す対策																							
・流下能力対策 ・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策 ・堤防整備	W.X	引き続き 実施	・洪水を安全に流す ためのハード対策の 推進	・洪水を河川内で安全に流 すためのハード対策を推進 する。 庄川：0.5km実施済	引き続き 実施	・洪水を河川内で安全に流 すためのハード対策を推進 する。 地久子川：護岸L=115m	引き続き 実施																
					引き続き 実施																		
				・防災拠点等の整備 の検討	・防災拠点等の整備を検討 する。 検討中	引き続き 実施																	
					引き続き 実施																		
■危機管理型ハード対策																							
・堤防天端の保護 ・裏法尻の補強	Y	引き続き 実施	・越水が発生した場合の 危機管理型 ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも 決壊までの時間を少しでも 引き延ばす危機管理型ハ ード対策を推進する。 庄川：17.4km実施済	引き続き 実施																		
				引き続き 実施																			
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																							
①新技術を活用した水 防資機材の検討及び 配備	O,R,T	・引き続 き実施 ・H28年 度から検 討	水防資材の確認・整 備	・水防連絡会にて水防倉庫 の備蓄材などの合同巡視を 実施 【H29.6.1】合同巡視時に実 施	引き続き 実施	・水防バトロールにて水防倉 庫の備蓄材などの合同巡視 を実施 【H28.6.9】合同巡視時に実 施 【H28.5.25】高岡土木管内河 川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河 川施設点検	引き続き 実施			・水防倉庫の備蓄材などを バトロールにて確認する。 【H29.5.31】常願寺川・神通 川の合同巡視時に確認 【H29.6.2】富山土木管内河 川施設点検時に確認	H28年度 から検討	・河川管理者と連携を図り、 水防資機材配備状況の確認 や整備を実施する。	引き続き 実施	・河川管理者や水防管理者 （庄川水害予防組合）と連携 し、水防資機材の配備状況 を確認し整備を行う。	H28年度 から検討	・河川管理者や水防団と連 携を図り水防資機材の配備 状況の確認を行う。	H28年度 から検討	・河川管理者と連携し水防 資機材の配備状況の確認 を実施する。	H28年度 から検討	・河川管理者や水防団と連 携を図り水防資機材の配備 状況の確認を行う。	H28年度 から検討		
①新技術を活用した水 防資機材の検討及び 配備	O,R,T	・引き続 き実施 ・H28年 度から検 討	・新技術を活用した 資機材等の配備	・新技術（水のう等）を活用 した資機材等の配備 検討中	引き続き 実施	・水防バトロールにて水防倉 庫の備蓄材などの合同巡視 を実施 【H28.6.9】合同巡視時に実 施 【H29.6.27】高岡土木管内河 川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河 川施設点検	引き続き 実施			・新技術を活用した資機材 等の配備 検討中	H28年度 から検討	・河川管理者と連携を図り、 水防資機材配備状況の確認 や整備を実施する。	引き続き 実施	・河川管理者や水防管理者 （庄川水害予防組合）と連携 し、水防資機材の配備状況 を確認し整備を行う。	H28年度 から検討	・河川管理者や水防団と連 携を図り水防資機材の配備 状況の確認を行う。	H28年度 から検討	・河川管理者と連携し水防 資機材の配備状況の確認 を実施する。	H28年度 から検討	・河川管理者や水防団と連 携を図り水防資機材の配備 状況の確認を行う。	H28年度 から検討		
②円滑な避難活動や 水防活動を支援する ため、CCTVカメラ、簡 易水位計や量水標等 の設置	L,N	H28年度 から順次 整備	・簡易水位計、・CCT Vカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置 検討中	H28年度 から順次 整備	・河川監視カメラの設置（水 位計設置箇所） 【H29.6】河川監視カメラの設 置1基（高岡土木）	H28年度 から順次 整備					・河川沿川における同報系 防災行政無線の整備を検 討する。	引き続き 実施										
					引き続き 実施	県管理の支川（水位周知河 川）において施工中	引き続き 実施					・現在、土砂災害危険地区 を中心に整備しており、河川 沿川の整備については検討 中	引き続き 実施										
2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組																							
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																							
①小中学校等における 水災害教育を実施	A,B,C	引き続き 実施	出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前 講座等を積極的に行ってい く。 【H28.12.9】富山工業高校生 に講義	引き続き 実施	・出前講座等を活用した啓 発を積極的に行っていく。 説明会の実施 ・和田川ダム 【H28.6.20ほか】射水市立新 湊小学校4年生ほか8校	引き続き 実施	・自治体の教育委員会と連 携し、効果的な水防の避難 や訓練など支援 ・中学校や教育委員会に て、「気象災害と防災気象情 報」の出前講座を実施	引き続き 実施	・小・中学校から要望があっ た場合、ハザードマップの周 知や災害情報の入手方法 などの出前講座を実施して いく。 今後要請に応じて実施して いく	引き続き 実施	・小中学校からの要望に応 じ、防災教育等に関する出 前講座を実施する。 小学校1校に水害状況の写 真パネル等を貸し出した。	H29年度 から検討	・小中学校から要望があっ た場合、過去に生じた水害 状況の写真パネルや資料 提供を行う。また、出前講 座の申込があれば対応す る。	引き続き 実施	・出前講座等で防災教育を 実施する。 ・各学校にて継続して実施 ・高校生からの聞き取り調 査に協力	引き続き 実施	・出前講座等で要望があっ た場合、防災教育を実施す る。 検討中	引き続き 実施	・小・中学校からの依頼によ り、防災教育全般として実 施している。 【H28.6】福野高校生徒から の聞き取り調査に協力	引き続き 実施		
				・市町村の要請により、出前 講座等を積極的に行ってい く。 【H28.6.19】砺波市南般若地 区にて出前講座を実施 【H28.9.11】高岡市角地区に て出前講座を実施 【H29.7.27】射水市古新町地 区にて出前講座を実施	引き続き 実施	・出前講座等を活用した啓 発を積極的に行っていく。 説明会の実施 ・境川ダム 【H28.8.20】砺波市西中地区 農地水保全会 【28.9.28】南砺市ボランティ ア連絡協議会	引き続き 実施	・関係機関と連携して効果 的な対応に協力 高岡市、砺波市、小矢部市 の要請により、自主防災組 織を対象とした出前講座を 実施 気象台で水防法改正や新し い気象情報についての勉強 会を実施	順次実施 引き続き 実施	・町内会や自主防災組織か ら要望があった場合、ハ ザードマップの周知や災害 情報の入手方法などの出前 講座を実施している。 防災に関する出前講座に て、水防災に関する説明を 実施（37回）	引き続き 実施	・出前講座等を活用し水防 災等に関する説明会を実施 する。 自主防災会を対象に、洪水 をテーマに出前講座を実施	引き続き 実施	・風水害をテーマとした出前 講座を16地区で実施 （H28年4月～H30年2月）	引き続き 実施	・【H30.2現在】 各種団体等31回実施	引き続き 実施	・出前講座等を活用し水防 災等に関する説明会を実施 する。 出前講座等を2回実施	引き続き 実施	・自治会等から出前講座の 要請があれば実施 ・出前講座による説明会開 催を市民にPR	引き続き 実施		

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	A,B,J	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	順次実施	・市広報紙面に記事掲載し市民への啓発を図る。	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き毎年実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	順次実施
				H29.6ブッシュ型配信開始チラシの作成・配布	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	洪水情報のブッシュ型配信など、市の広報やHPを通じて市民の意識向上に努めた。	引き続き実施	・洪水情報のブッシュ型配信や避難準備情報の名称変更など、市民により分かりやすい内容となるように周知資料の作成	引き続き実施	H29.5 広報・避難情報・気象情報収集等に関する啓発 H29.6 CATV・風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H29.6】広報に掲載済	引き続き実施	検討中	引き続き実施
④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	C	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討					・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	順次毎年実施	・県と合同で毎年実施	順次毎年実施
				【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施			【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】合同巡視に地元住民も出席し重要水防箇所共同点検を行った。	引き続き実施	【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H28.6】県との合同パトロール時に実施	引き続き実施		
⑤まるごとまちごとハザードマップを整備	F,G,H	順次実施	まるごとまちごとハザードマップへの情報提供	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施			・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。	必要があれば検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	H28年度以降検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・市財政課・防災担当課と協働し、必要性の有無等について検討していく。	順次実施
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施		今後検討	必要があれば検討	検討中	引き続き実施	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施		
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	M	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発 自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施		引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が「防災士の資格を取得するための補助金の交付	引き続き実施	・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講座・水防災訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成する。	順次実施	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。	順次実施	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	・地域の防災力向上を図るために研修会の実施や防災士による出前講座の実施	引き続き毎年実施	・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当隊は、自主防災組織からの派遣要請に基づき、各種訓練に参加のうえアドバースをすることで、自主防災組織の活性化につなげている。今後も積極的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図る。	順次実施
						【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	・富山県総合防災訓練会場となった富山市に対し、訓練等への支援実施 ・総合防災訓練を実施の射水市に対し、総合防災訓練への支援実施	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士による防災講座の実施(富山県防災士会との協働) ・地域の防災リーダー育成研修を実施(富山県防災士会との協働)	引き続き実施	・水害に関する出前講座を実施(7件) ・自主防災組織等の結成率の向上 ・自主防災組織の要となる防災士を育成	引き続き実施	・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 ・【H28.8.21】砺波地区で市総合防災訓練実施	引き続き実施	防災士による避難所設営訓練を実施(3地区で実施)	引き続き実施	防災士による出前講座の実施	引き続き実施	防災講演会を実施予定	引き続き実施

2. ソフト対策の主な取組

②迅速かつ確実な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

①リアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信など防災情報の充実	I,J,K,L	順次実施	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンの検証と改善 ・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等リアルタイムで閲覧、書き込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良・一端向けシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き実施	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	順次整備	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。	順次整備	・高岡市防災情報メールについて、更なる普及のための周知・広報を実施する。また、エリアメール、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送を活用する。	引き続き実施	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を56局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送による音速エリアを拡充する。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送で配信するシステムを整備する。	順次整備	・登録制である砺波市緊急メールについて、更なる普及のため市民に周知及び広報を行う。	順次整備	・防災・緊急メールの更なる普及に向けPRしていく、また、エリアメール、CATVの文字放送を活用する。	H28年度から実施	・携帯電話及びパソコンのメールを利用した緊急メールの登録について、更なる普及を目指しPRしていく。 ・既存の防災行政無線をデジタル化するとともに、難読エリア解消にむけて屋外拡声子局の増設も行う。 ・新たな情報発信ツールを整備していく(防災アプリの開発)。	順次実施
				【H28.3】よりスマートフォン向け機能を追加し、運用開始 ・H29.5.1より配信開始	引き続き実施	【H28.8.1】新たな富山県総合防災システムの運用開始 【H30.2.15】河川情報システムの更新		【H29.3】「はん蓋」・「氾濫」へ情報文、電文の変更を実施した。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備を進めている。 ・SNSやスマートフォンアプリについて広報やHPでの普及を推進 ・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信の開始を広報やリーフレットの回覧により市民周知を図った。	継続して整備を行う	高岡市防災情報メールについて、更なる普及のための周知・広報を実施	H28年9月26日から運用開始	整備済	【H29.5～】ブッシュ型配信実施済	引き続き実施	Yahoo防災情報での「自治体からの緊急情報」提供開始	引き続き実施	H29.5.1～の配信に向けて、手続中	順次実施	
②各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善	E	順次実施	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供	・出水後におけるタイムラインの検証と改善	順次実施	・市町村が作成する、タイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	・関係機関が参画したタイムラインの策定	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施、洪水対応マニュアルの見直しを実施する。	引き続き実施	・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直しなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	順次実施	・防災行動計画(タイムライン)は策定済 河川管理者及び関係機関と連携して改善を図る。	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施	H28年度から実施	・防災計画のタイムライン策定時期と合わせ水防計画において策定する。	順次実施
				【H30.3.20】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)を開催	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・大雨災害後、市町村と振り返りを実施 【H30.3.20】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)に参加	引き続き実施	未実施【H30.3.20】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)に参加	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H29.5～】内容について一部改定	引き続き実施	小矢部川を対象としたタイムラインの改善済	引き続き実施	小矢部川を対象としたタイムラインを作成中	引き続き実施
③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	F,G,H	H28年度から実施	洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・庄川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H28年度から順次実施														
				【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施														

減災のための取組項目（素案） （概ね5年間）					北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
	④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	F,G,H,M	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H28年度から順次実施					・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 ・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認を行う。 ・広域避難のほかに垂直避難等柔軟な避難方法検討する。	H28年度から順次実施	・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が必要なエリアを検証し、現行の避難動告等判断伝達マニュアルを見直す。	H28年度から順次実施	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等により、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	H28年度から順次実施	・最短到達時間によっては垂直避難をすることも考慮し検討	平成29年度から順次実施	・浸水想定区域図等の公表を踏まえ、避難所ごとに水害時の浸水深、避難の可否、及び経路について検証していく。	H28年度から順次実施	
					【H28.6.20】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を公表済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施					検討中	引き続き実施	指定緊急避難場所施設の想定最大規模における浸水深を検証	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	水防計画で作成済	実施済	
	⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	F,G	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	H28年度から順次実施			・河川管理者、隣接市町村などの関係機関と協議を実施し、検討する。	必要があれば検討	・県西部6市と連携し、広域避難計画を検討する。	平成28年度から順次実施	・参加市・町で連携し広域避難に関する検討を行う。	平成28年度から順次実施	・国、県、関係市町村と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を広域避難計画を検討・策定する。 ・国、県、関係市町村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を広域避難計画を検討・策定する。	平成28年度から順次実施	・県、関係市と連携し検討	平成29年度から順次実施	・広域避難の実現性について、隣接市とも協議しながら検討していく。	平成28年度から順次実施	
					検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			防災機関が参画するタイムラインの協議など機会を捉えて検討する。	H30年度以降実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	
	⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	F,G,H	H28年度から実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	H28年度から順次実施			・洪水ハザードマップの更新を行う。	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	・洪水ハザードマップの見直しを行い、周知・広報を実施する。	H28年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H28年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H28年度以降順次実施	・洪水ハザードマップを更新し、全戸配布することにより周知	平成29年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H28年度から順次実施	
					検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			・平成30年度以降に更新	引き続き実施	・平成30年度策定予定	引き続き実施	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H29.1】浸水想定区域のデータを受取済	引き続き実施	県の想定区域公表後のH30に実施予定	引き続き検討	
	⑦水位予測の検討及び精度の向上	D	引き続き実施	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施																	
					・検討中 システム改良済	引き続き実施																	
	⑧防災気象情報の改善	L	H29年度	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供						H29年度													
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組																							
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																							
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	P	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練の実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う水防訓練において、市長も参加するものとする。	引き続き毎年実施	・市防災訓練時に併せて、訓練できないか検討し、実施に向けて取組む。	引き続き毎年実施		
				【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習に参加	引き続き実施	【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【29.5.12】洪水対応演習に参加した。	引き続き毎年実施	【H28.4.21】【H29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【H28.5.27】【H29.5.12】洪水対応演習に参加した。	引き続き実施	【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【H29.5.12】情報伝達演習	引き続き毎年実施	【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【H29.5.12】職員参集訓練	引き続き毎年実施	南砺市防災訓練及び事前訓練で、水防団と一緒に実施	引き続き毎年実施		
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	N,O,P	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施		引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施		
				【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施	引き続き実施		【H29.6.1】重要水防箇所の合同点検参加	引き続き毎年実施	【H28.6.9】【H29.6.1】合同巡視に地元住民も出席し重要水防箇所の共同点検を行った。	引き続き実施	【H29.6】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H29.6】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6】合同巡視時に実施	引き続き参加を検討			

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	R,S	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている実働水防訓練の内容を検討する。	引き続き毎年実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検討する。	引き続き毎年実施	・毎年防災訓練を実施	引き続き毎年実施	・市総合防災訓練時に、洪水を想定した連絡体制や水防訓練を実施	引き続き毎年実施	
	④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	Q,S	引き続き実施	・水防団員の募集促進		【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H28年度】北陸地整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き毎年実施	要請のあった県、市町村の防災訓練参加	引き続き実施	【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き毎年実施	(平成29年度は小矢部川)	引き続き毎年実施	【H28.6.10】【H29.6.20】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き毎年実施	引き続き検討	引き続き毎年実施	【H29.9】防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き毎年実施	南砺市防災訓練及び事前訓練で、水防団と一緒に実施	引き続き毎年実施	
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	R	引き続き毎年実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・他市町村の実施状況を参考に、市防災担当課と協議しながら対応を検討する。	引き続き毎年実施
					【H29年9.10月】に水防技術基礎講座に参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加	引き続き実施	【H29.5.19】水防工法訓練参加	引き続き実施	【H28.9.30】【H28.10.21】【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	【H29.5.19】水防工法訓練参加	引き続き実施	【H29.5.19】水防工法訓練参加	引き続き実施	【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	T	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	検討中	引き続き実施	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	H28年度から順次実施 引き続き実施														
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																						
	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	M	引き続き実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	検討中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定	引き続き実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行うとする際の支援	引き続き実施	要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。	H29年度から検討	要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動			・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	検討中	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	H28年度から順次実施 引き続き実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明	H29年度から検討	・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から順次実施				
2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																						
■救援・救助活動の効率化に関する取組																						
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	G,U	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			・河川管理者などから情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定	H29年度から検討	・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配置等を検討する。	H28年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	・広域支援拠点等の配備計画を検討	H28年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	・広域支援拠点等の配置計画の検討	H28年度から検討
						引き続き実施			今後検討			H30年度以降	・受援計画策定に向けて、情報収集を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																						
	①大規模水害を想定した庄川排水計画(案)の検討を実施	U,V	H28年度から検討	排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H29年度に排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施中	引き続き実施	検討中	引き続き実施			・排水ポンプ車の配置計画を再検討	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討
	②地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施			・地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討支援	検討中	引き続き実施							・地下街への浸水を想定した避難計画及び排水計画(案)の必要性を検討する。	H28年度から検討								

減災のための取組項目（素案） （概ね5年間）					北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
		③排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	V	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を実施	引き続き毎年実施	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。	引き続き毎年実施
						【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.6.29】水門箇所の合同調査にて確認	引き続き実施	【H29.5.12】洪水対応演習にて実施	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】水防連絡会で連絡体制の整備、情報の共有化が行われた。	引き続き実施	【H29.5.12】洪水対応演習にて実施	引き続き実施	【H29.4】確認済	引き続き毎年実施	引き続き検討	引き続き実施		
		④関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Y	順次実施	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練の実施	引き続き実施	・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・水防訓練と合同で訓練を検討	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施
						【H29.5.29】実際の実働を想定した現地での訓練実施	引き続き実施	【H28年度】北陸地整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施	【H29.7.28】富山防災センターにおいて、排水作業訓練を実施（作業従事者63名参加） 【H29.5.27】常願寺川右岸において、水防訓練を実施	引き続き実施	（平成29年度は小矢部川） 【H29.6.3】水防訓練実施（長慶寺地先）	引き続き実施	【28.12.21】富山河川国道事務所の災害対策車両訓練が行われた。	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請	引き続き実施		

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1. ハード対策の主な取組																		
■洪水を河川内で安全に流す対策																		
・浸透対策 ・バイピング対策 ・堤防整備			・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施												
			小矢部川：2.5km実施済	引き続き実施	谷内川：護岸L=80m、橋梁下部工、取水堰下部工 小矢部川水系和田川：護岸L=50m 黒石川：護岸L=157m 横江宮川：護岸L=313m 坂又川：護岸L=40m 小矢部川：護岸L=12m、根継L=55m	引き続き実施												
			・防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施														
			検討中	引き続き実施														
■危機管理型ハード対策																		
・堤防天端の保護			・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施														
			小矢部川：24.3km実施済	引き続き実施														
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備			・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・河川管理者と連携を図り、水防資機材配備状況の確認や整備を実施する。	引き続き実施	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。	H29年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。	H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。	H29年度から検討
			【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H29.6.27】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H29.5.29】小矢部土木管内河川施設点検	引き続き実施			【H29.6.1】合同巡視時に実施 出水期前に資機材配備状況を確認し不足する資材を補充	引き続き実施	【H28.6.9】【H29.6.1】合同巡視に参加し水防資材を確認した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H28.6】合同巡視時に実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
			・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施												
			検討中	引き続き実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H28.5.25】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H29.5.29】小矢部土木管内河川施設点検 【H29.6.27】高岡土木管内河川施設点検	引き続き実施												
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置			・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) 【H29.6】河川監視カメラの設置3基(高岡土木) 【H29.4.28】小矢部土木：3台設置	H28年度から順次整備			・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討	引き続き実施								
			検討中	引き続き実施	県管理の支川(水位周知河川)において施工中。	引き続き実施			・現在、土砂災害危険地区を中心に整備しており、河川沿川の整備については検討中	引き続き実施								

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2. ソフト対策の主な取組 ①河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組																		
■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																		
	①小中学校等における水災害教育を実施		・市の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。	H29年度から検討	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。	引き続き実施	・出前講座等で防災教育を実施する。	引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。	引き続き実施	・小・中学校からの依頼があれば、防災教育全般として実施している。	引き続き実施
		【H28.12.9】富山工業高校生に講義	引き続き実施	検討中	県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。	引き続き実施	・中学校や教育委員会にて、「気象災害と防災気象情報」の出前講座を実施	引き続き実施	・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施	引き続き実施	小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
	②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催		・市の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・出前講座の活用を積極的に働きかける。	引き続き実施	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引き続き実施
		検討中		引き続き実施	検討中	県管理河川、ダムにおいて説明会等を開催している。	・高岡市、砺波市、小矢部市の要請により、自主防災組織を対象とした出前講座を実施した。	引き続き実施	自主防災会を対象に、洪水をテーマに出前講座を実施	引き続き実施	風水害をテーマとした出前講座を16地区で実施 (H28年4月～H30年2月)	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	出前講座等を2回実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
	③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布		「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	順次実施	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	順次実施
		H29.6プッシュ型配信開始チラシの作成・配布	引き続き実施	検討中		引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	・洪水情報のプッシュ型配信や避難準備情報の名称変更など、市民により分かりやすい内容となるように周知資料の作成	引き続き実施	H29.5 広報・避難情報・気象情報収集等に関する啓発 H29.6 CATV:風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.6】広報に掲載済	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
	④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施		・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討			・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	順次毎年実施	・県と合同で毎年実施	順次毎年実施
		【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施		【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施			【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施	【H29.6.1】合同巡視に出席し重要水防箇所の共同点検を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討
	⑤まるとまごととハザードマップを整備		・市が作成するまるとまごととハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施			・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	H29年度以降検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・市財政課・防災担当課と協議し、必要性の有無等について検討していく。	順次実施
		検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施				検討中	引き続き実施	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実				自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講座・水防災訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成する。	順次実施	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。	順次実施	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	・地域の防災力向上を図るために研修会の実施や防災士による出前講座の実施	引き続き毎年実施	・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当隊は、自主防災組織からの派遣要請に基づき、各種訓練に参加のうえアドバイスをすることで、自主防災組織の活性化につながっている。今後も積極的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図る。	順次実施
					【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	・総合防災訓練を実施の高岡市、射水市に対し、総合防災訓練への支援実施	引き続き実施	・水害に関する出前講座を実施(7件) ・自主防災組織等の結成率の向上 ・自主防災組織の要となる防災士を育成	引き続き実施	・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 ・【H28.8.21】砺波地区で市総合防災訓練実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.2】防災講演会を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組																	
■情報伝達、避難計画等に関する事項																	
	①リアルタイムの情報提供 やプッシュ型情報の発信など 防災情報の充実	・川の防災情報システムの改良 及びスマートフォンを活用した情報 発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報 発信	順次実施	・富山県総合防災システムにより、 ①県と参加可能な国・市町村・防 災関係機関等がリアルタイムで 閲覧、書込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、 報道機関等との連携により住 民等へ被害情報等を迅速・的確 に提供 ・河川情報システムの改良帯端 末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配 信の実施	引き続き 実施	・気象警報・注意報等を発表し、 現象ごとに警戒、注意期間及び 雨のピーク時間帯、量などの予 想最大値を周知し、必要に応じ て、自治体、関係機関に情報伝 達(ホットライン)を実施	順次整備	・高岡市防災情報メールについて、 更なる普及のため周知・広報を 実施する。また、エリアメール、 CATVのL字放送、コミュニティ FMの割り込み放送を活用する。	引き続き 実施	・防災行政無線を整備し屋外拡 声子局を56局(親局を含む)か ら113局に増やし、一斉放送に よる音達エリアを拡充する。ま た、放送内容と同じものをエリ アメールや登録制のメール配信、 CATVのL字放送、コミュニティFM の割り込み放送で配信するシス テムを整備する。	順次整備	・登録制である砺波市緊急メー ルについて、更なる普及のため 市民に周知及び広報を行う。	順次整備	・防災・緊急メールの更なる普及 に向けPRしていく、またエリア メールCATVの文字放送を活用 する。	H28年度 から実施	・携帯電話及びパソコンのメー ルを利用した緊急メールの登録に ついて、更なる普及を目指しPR していく。 ・既存の防災行政無線をデジ タル化するとともに、難聴エリア解 消にむけて屋外拡声子局の増設 も行う。 ・新たな情報発信ツールを整備し ていく(防災アプリの開発)。	順次実施
		・【H28.3】よりスマートフォン向け 機能を追加し、運用開始 ・H29.5.22より配信開始 【H29.10.12】台風21号出水に伴 い配信	引き続き 実施	【H28.8.1】新たな富山県総合防 災システムの運用開始 【H30.2.15】河川情報システムの更 新	引き続き 実施	【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ情 報文、電文の変更を実施した。 ・大雨が予想された場合、関係 機関に情報伝達(ホットライン)を 実施	引き続き 実施	高岡市防災情報メールについ て、更なる普及のため周知・広報 を実施	引き続き 実施	H28年9月26日から運用開始	整備済	今後検討	H29年度 から検討	Yahoo防災情報での「自治体から の緊急情報」提供開始	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討
	②各関係機関が参画した 「庄川・小矢部川タイムライン 検討会」における急流河川 の特性を踏まえた大規模水 害時のタイムライン(事前防 災計画)の策定と検証及び 改善	・出水後におけるタイムラインの 検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提 供など	順次実施	・市町村が作成するタイムライン に必要な水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県 及び関係市町村と共同で整備・ 改善を支援	順次実施	・作成済みタイムラインの改善を 実施、洪水対応マニュアルの見 直しを実施する。	引き続き 実施	・新たな浸水想定に基づき、現行 の避難勧告等判断伝達マニ ュアルの見直すなど、タイムライン を意識した避難対策となるよう改善 を図る。	順次整備	・防災行動計画(タイムライン)は 策定済み。河川管理者及び関係 機関と連携して改善等を図る。	引き続き 実施	作成済みタイムラインの改善を 実施する。	H28年度 から実施	・防災計画のタイムライン策定期 間と合わせ水防計画において策 定する。	順次実施
		【H30.3.20】庄川・小矢部川タイム ライン検討専門部会(仮称)を開 催	引き続き 実施	検討中	引き続き 実施	・大雨災害後、市町村と振り返り を実施 【H30.3.20】庄川・小矢部川タイム ライン検討専門部会(仮称)を開 催	引き続き 実施	検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討	改善済	実施済	今後検討	H29年度 から検討		
	③想定最大規模も含めた決 壊地点別浸水想定区域図、 家屋倒壊等氾濫想定区域の 公表(浸水ナビ等による公表)	・小矢部川及び渋江川の洪水浸 水想定区域図の策定・公表に向 けての検討 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を 作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シ ミュレーションの公表	H29年度 から実施	・想定最大規模も含めた浸水想 定区域図や家屋倒壊等氾濫想 定区域等の公表	H29年度 から 順次実施												
		【H29.4.17】洪水浸水想定区域図 の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図の 作成・提供済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中	引き続き 実施												
	④立ち退き避難が必要な区 域及び避難方法の検討	・浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の情報提供を行う。	H29年度 から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の公表	H29年度 から順次 実施			・家屋倒壊危険区域等より、立ち 退き避難が必要な区域を検討す る。 ・避難所ごとに水害時の浸水深 や避難の可否について確認を行 う。 ・広域避難のほかに垂直避難等 柔軟な避難方法検討する。	H29年度 から順次 実施	・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち 退き避難が必要なエリアを検証 し、現行の避難勧告等判断伝達 マニュアルを見直す。	H29年度 から順次 実施	・浸水深、浸水継続時間及び家 屋倒壊危険区域等により、立ち 退き避難が必要な区域を検討す る。	H29年度 から順次 実施	・最短到達時間によっては垂直 避難をすることも考慮し検討	H29年度 から順次 実施	・浸水想定区域図等の公表を踏 まえ、避難所ごとに水害時の浸 水深、避難の可否、及び経路に ついて検証していく。	H29年度 から順次 実施
		【H29.4.17】浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間及び家屋倒壊 危険区域を公表済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中	引き続き 実施			検討中	引き続き 実施	指定緊急避難場所施設の想定 最大規模における浸水深を検証	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討	検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討
	⑤参加市町村による広域避 難計画の策定及び支援	・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	H28年度 から順次 実施	・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供	H28年度 から順次 実施			・県西部6市と連携し、広域避難 計画を検討する。	H28年度 から順次 実施	・参加市・町で連携し広域避難に 関する検討を行う。	H28年度 から順次 実施	・国、県、関係市町村と連携し、 計画規模洪水に対する広域避難 計画を広域避難計画を検討・策 定する。 ・国、県、関係市町村と連携し、 想定最大規模洪水に対する広域 避難計画を広域避難計画を検 討・策定する。	平成28年 度から順 次実施	・県、関係市と連携し検討	H28年度 から順次 実施	・広域避難の実現性について、 隣接市とも協議しながら検討して いく。	平成28年 度から順 次実施
		検討中	引き続き 実施	想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中	引き続き 実施			検討中	引き続き 実施	検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討	検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討
	⑥広域的な避難計画等を反 映した新たな洪水ハザード マップの策定・周知	・ハザードマップポータルサイ トの周知と活用を促進	H29年度 から実施	・作成に必要な情報(浸水想定 区域の浸水深、浸水継続時間 等)の提供	H29年度 から順次 実施			・洪水ハザードマップの見直しを 行い、周知・広報を実施する。	H29年度 から順次 実施	・洪水ハザードマップの見直しを 検討する。	H29年度 から順次 実施	・洪水ハザードマップの見直しを 行い、全戸配布により周知する。	H29年度 以降順次 実施	・洪水ハザードマップを更新し、 全戸配布することにより周知	H29年度 から順次 実施	・洪水ハザードマップの見直しを 検討する。	H30実施 予定
		検討中	引き続き 実施	想定最大規模降雨による洪水浸 水想定区域図を作成中	引き続き 実施			・平成30年度策定予定	引き続き 実施	平成31年度にハザードマップの 見直しを予定しており、対応につ いては検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討	検討中	引き続き 実施	今後検討	H29年度 から検討

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
		⑦水位予測の検討及び精度の向上	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施													
			・検討中 システム改良済	引き続き実施													
	⑧防災気象情報の改善					・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度										
						【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始した。											
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組																	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																	
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う水防訓練において、市長も参加する。	引き続き毎年実施	・市防災訓練時に併せて、訓練できないか検討し、実施に向けて取組む。	引き続き毎年実施
		【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【29.5.12】洪水対応演習で情報伝達訓練に参加した。	引き続き毎年実施	【28.4.21】【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【28.5.27】【29.5.12】洪水対応演習で情報伝達訓練に参加した。	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【29.4.27】水防連絡会に出席し確認した。 【H29.5.12】情報伝達演習 【H29.11】職員参集訓練	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施
		【H29.6.1】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H29.5.31】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】重要水防箇所の合同点検参加	引き続き毎年実施	【H28.6.9】【H29.6.1】合同巡視に出席し重要水防箇所の共同点検を行った。	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.6】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている実働水防訓練の内容を検討する。	引き続き毎年実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検討する。	引き続き毎年実施	・毎年防災訓練を実施	引き続き毎年実施	・市総合防災訓練時に、洪水を想定した連絡体制や水防訓練を実施	引き続き毎年実施
		【H29.5.19】常願寺川右岸において、水防工法研修会を実施 【H29.6.3】高岡市主催の水防訓練へ参加	引き続き毎年実施	【H28.8.27】県総合防災訓練を実施（砺波市、小矢部市、南砺市） 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き毎年実施	要請のあった県、市町村の防災訓練参加	引き続き実施	【H29.5.19】水防工法訓練参加 【H29.6.3】水防訓練実施（長慶寺地先）	引き続き毎年実施	【H28.6.10】【H29.6.20】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.9】総合防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討
	④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進							・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き実施	・広報誌やホームページで水防協力団体の募集を行う。	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き実施	・他市町村の実施状況を参考に、市防災担当課と協議しながら対応を検討する。	引き続き毎年実施
								消防団員優遇支援事業の実施、HP、SNSを活用した広報により新入団員の加入促進を図る。	引き続き実施	ホームページ等で消防団員の募集を行っている。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H28.10】消防団サポート事業開始	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市				
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施		・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施				
		H29年9.10月に水防技術基礎講座に参加	引き続き実施		【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.5.19】水防工法訓練参加	引き続き毎年実施	【H28.9.30】【H28.10.21】【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討		
		・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H29年度から検討		・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施														
		検討中	引き続き実施		想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施														
		・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討		・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	H28年度から検討	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H29年度から検討			
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	検討中	引き続き実施		検討中	引き続き実施			【H29.7.31】国、県と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認	引き続き実施	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討		
		・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施		・連絡体制の確認	引き続き実施			・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	H29年度から検討	・整備済みであり、連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。	引き続き毎年実施		
	⑦大規模水害を想定した小矢部川排水計画(案)の検討を実施	検討中	引き続き実施		検討中	引き続き実施			【H29.7.31】国、県と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認	引き続き実施	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討		
		【H29.4.27】水防連絡会にて確認【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施		【H28.4.21】水防連絡会にて確認【H28.5.27】洪水対応演習を実施【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施			【H29.5.12】洪水対応演習にて実施	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】水防連絡会で連絡体制の整備、情報の共有化が行われた。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.5】確認済	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討		
	⑧排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施		・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施		
		【H29.5.29】実際の実働を想定した現地での訓練実施【H29.6.3】高岡市主催の水防訓練へ参加	引き続き実施		【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			【H29.6.3】水防訓練実施(長慶寺地先)	引き続き実施	【H28.9.30】【H28.10.21】【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討		
	■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																			
	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。	引き続き実施		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の支援	引き続き実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う。	H29年度から順次実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	・浸水想定区域図等の公表を反映させたハザードマップ等を関係各施設に配布する。	H30実施予定
		検討中	引き続き実施		【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定	引き続き実施			【H29.2～H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼した。順次、関係施設に対して説明を行う予定	引き続き実施	【H30.2.9】対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。 【H30.2.15】対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.12】避難計画の有無確認	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から順次実施						
検討中		引き続き実施		想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			検討中	引き続き実施			今後検討	H29年度から検討							

(様式2-取組概要)

北陸地整

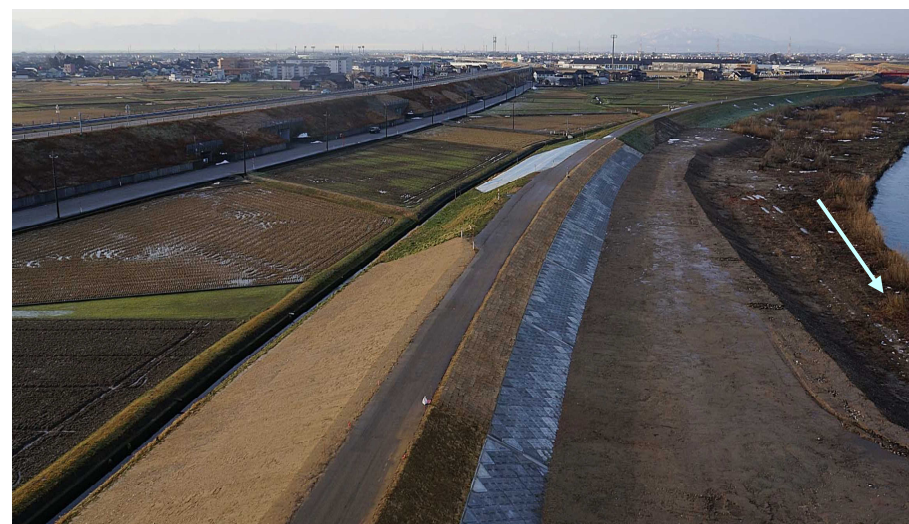
カテゴリー	洪水氾濫を未然に防ぐための対策(洪水を安全に流すためのハード対策)
内 容	流下能力対策、侵食・洗掘対策、浸透・パイピング対策
実施主体	富山河川国道事務所

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川において、浸透・侵食に対する安全性や流下能力を向上させる「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を推進している。

- 平成30年3月時点整備延長
(対策不要区間含む)
- | | |
|-------|----------|
| ①常願寺川 | 1. 0 k m |
| ②神通川 | 3. 7 k m |
| ③庄川 | 0. 5 k m |
| ④小矢部川 | 2. 5 k m |



富山市朝日地区 侵食対策 (常願寺川)



高岡市高田島地区 浸透対策 (小矢部川)

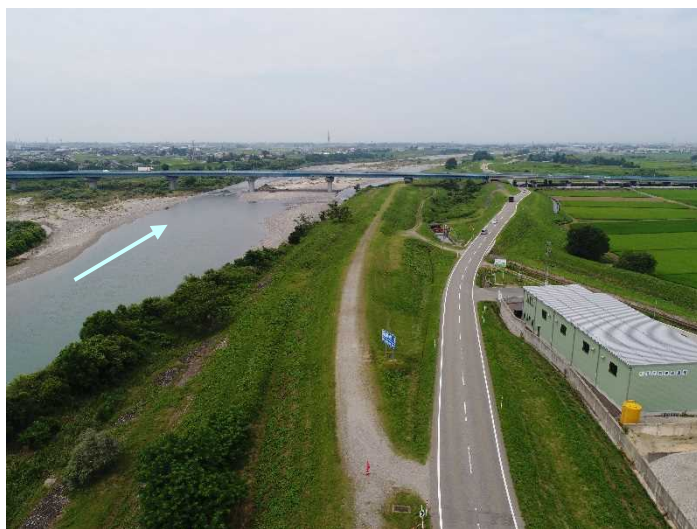
(様式2-取組概要)

北陸地整

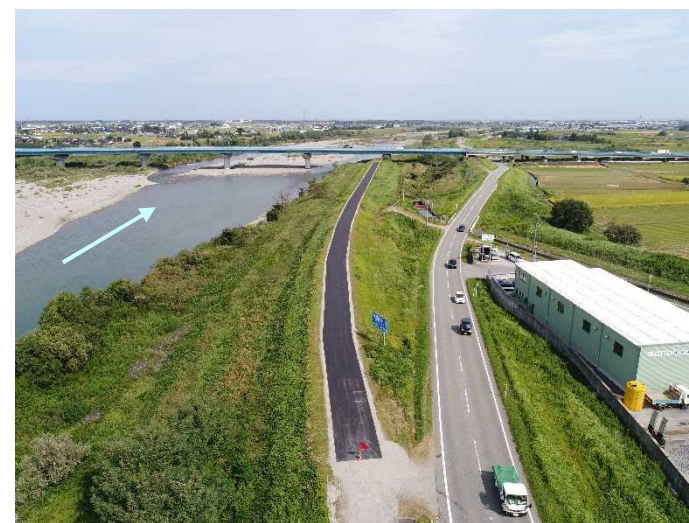
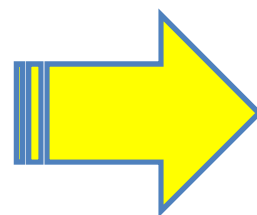
カテゴリー	危機管理型ハード対策
内 容	堤防天端の保護
実施主体	富山河川国道事務所

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川において、堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす対策を推進している。

- 平成30年3月時点整備延長
(対策不要区間含む)
- | | |
|-------|---------|
| ①常願寺川 | 5.5 km |
| ②神通川 | 32.1 km |
| ③庄川 | 17.4 km |
| ④小矢部川 | 24.3 km |



実施前



実施後

富山県富山市水橋二杉地先（常願寺川）

(様式2-取組概要)

北陸地整

カテゴリー	小中学校等における水災害教育を実施 出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内 容	水防災等に関する出前講座を実施
実施主体	富山河川国道事務所

各地域に関係する河川を題材として、水防災に係る出前講座、講習会を開催した。

- ・平成29年 6月 2日 常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修
- ・平成29年 7月27日 射水市古新町地区（庄川）
- ・平成29年 9月24日 有沢新町（神通川・井田川）
- ・平成29年10月 4日 防災指導者講習会（教員向け）
- ・平成30年 1月17日 大沢野小学校（神通川）



平成29年6月2日 常願寺川右岸水防市町村組合
議会議員研修



平成30年1月17日 大沢野小学校

(様式2-取組概要)

北陸地整・市町村

カテゴリ	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	広報誌掲載並びに広報チラシの回覧等による関係住民への全戸周知
実施主体	富山河川国道事務所、富山市、立山町、舟橋村、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

平成29年5月より配信が開始された緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について、配信地域の住民への周知を目的に、各自治体の広報誌への掲載及び自治体と共同作成したチラシを回覧等により関係住民への全戸周知を実施した。

常願寺川の洪水情報（緊急速報メール）の配信開始について
調査第一課
☎44314701

平成29年5月1日(月)より、常願寺川において河川が氾濫する恐れがある場合や越水や決壊等により河川の氾濫が発生した場合において、皆様の携帯電話やスマートフォンに対して洪水情報のプッシュ型配信を開始します。配信エリアは舟橋村全域となっております。従来のTVやラジオ、防災無線等からの情報のほか、この情報を活用していただくことにより、住民の皆様が自ら水害の危険性を察知し、自主的な避難に役立てていただきたいと思います。

■対象観測所
大川寺水位観測所（富山市大山上野地先）

■配信情報
対象観測所において、河川の水位が氾濫危険水位に到達した場合及び河川氾濫が発生した場合。

■留意事項
プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みのことです。基地局の関係により、配信エリア近郊の方にも届くことがあります。機器の電源が入っていない場合、

圏外、電波状況の悪い場所、機内モード時、通話中、パケット通信中の場合は受信できません。
ご利用の機種により、緊急速報メールに対応していない場合があります。
緊急速報メールを受信するためには、受信設定が必要な場合があります。

広報誌への掲載
(例：広報ふなはし4月号)

洪水情報（緊急速報メール）のプッシュ型配信が開始されました

平成29年5月より、常願寺川において河川が氾濫する恐れがある場合や越水や決壊等により河川の氾濫が発生した場合において、皆様の携帯電話やスマートフォンに対して洪水情報のプッシュ型配信を開始します。配信エリアは舟橋村全域となっております。従来のTVやラジオ、防災無線等からの情報のほか、この情報を活用していただくことにより、住民の皆様が自ら水害の危険性を察知し、自主的な避難に役立てていただきたいと思います。

■対象観測所
大川寺水位観測所（富山市大山上野地先）

■配信情報
対象観測所において、河川の水位が氾濫危険水位に到達した場合及び河川氾濫が発生した場合。

■留意事項
プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みのことです。基地局の関係により、配信エリア近郊の方にも届くことがあります。機器の電源が入っていない場合、

自治体と共同作成したチラシ（例：富山市）

洪水情報（緊急速報メール）のプッシュ型配信が開始されました。このチラシは、富山市と共同で作成されたもので、洪水情報の配信が開始されたこと、配信の仕組み、注意喚起などの情報が掲載されています。

このチラシは、富山市と共同で作成されたもので、洪水情報の配信が開始されたこと、配信の仕組み、注意喚起などの情報が掲載されています。

自治体と共同作成したチラシ（例：富山市）

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリー	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所共同点検の実施
内 容	重要水防箇所等の共同点検を実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川において、関係水防機関や電力・鉄道会社、災害協定業者、地元住民の方々と合同で、洪水時に危険となる箇所や緊急資材倉庫の備蓄状況の確認を行い、水防活動に万全を期することを目的に行っている。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年5月31日（水） AM：常願寺川 PM：神通川
平成29年6月 1日（木） AM：庄川 PM：小矢部川
- ・ 内 容：重要水防箇所や緊急資材倉庫など4河川で計27箇所の巡視を実施
- ・ 参加人数：常願寺川44名、神通川42名、庄川59名 小矢部川51名



常願寺川



神通川



庄川



小矢部川

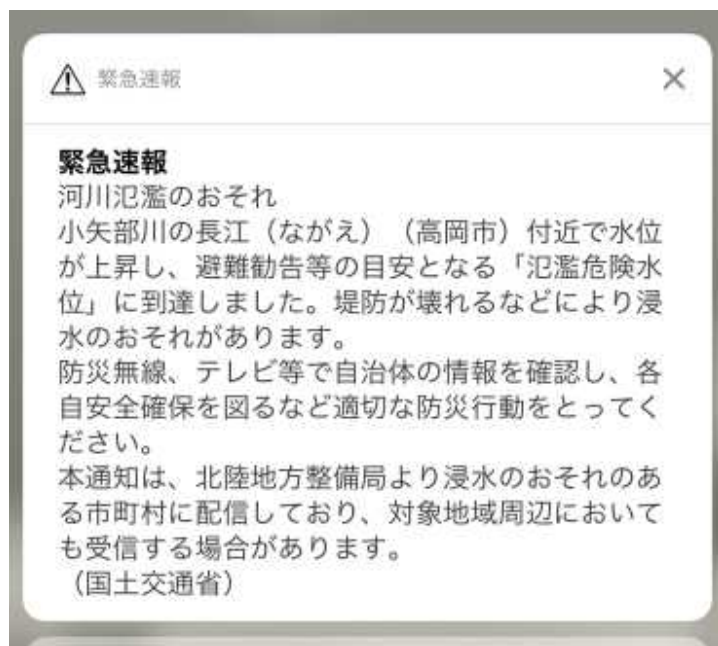
(様式2-取組概要)

北陸地整

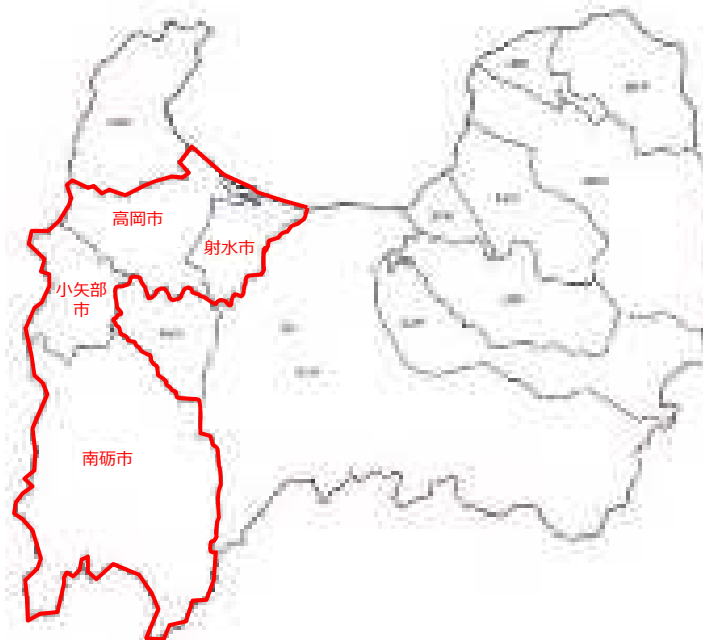
カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の配信など防災情報の充実
内 容	プッシュ型の洪水予報等の情報発信
実施主体	富山河川国道事務所

平成29年5月より、管内4河川の沿川住民を対象として洪水情報のプッシュ型配信を開始
平成29年10月の台風21号により小矢部川の長江観測所（高岡市）では、23日4時40分頃に避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達したことから、県内の国管理河川で初めて、沿川の高岡市、射水市等の4市約29万人の住民に対して洪水情報のプッシュ型配信を実施

今回配信された緊急速報メール
小矢部川「氾濫のおそれ」



今回の洪水で配信されたエリア



(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内 容	洪水対応演習の実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

出水時における県・関係市町村を含めた水防機関等への情報伝達及び洪水予報、水防警報等の文書作成等を行い、洪水時の緊急かつ適切な対応に資することを目的として次のとおり情報伝達演習を実施している。

【詳細】

- ・ 日 時： 平成29年5月12日（金）
- ・ 内 容： ① 出水時における洪水予測の実施
② 水防関係機関への水防警報・洪水予報等の情報伝達
③ 水門等の操作ルール、操作状況の確認及び情報伝達
④ 河川工事現場関係者への情報伝達及び被害軽減を図る措置の検討
⑤ 市町村とのホットライン（電話）による情報共有
- ・ 対象河川 水防法に基づく水防警報対象河川（常願寺川、神通川、庄川、小矢部川）

H29実施状況



(様式2-取組概要)

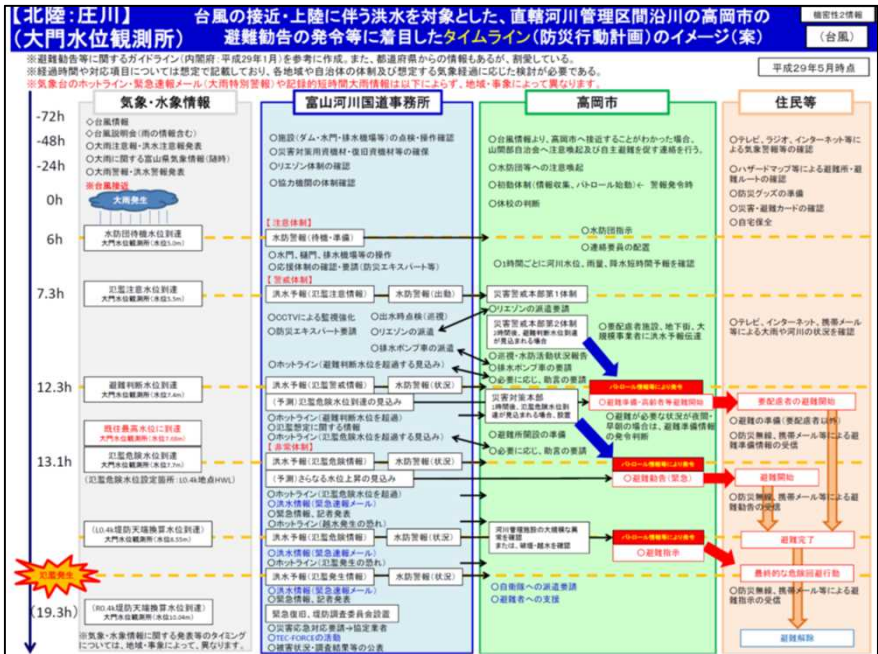
北陸地整・富山地方気象台・市町村

カテゴリ	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善
内 容	タイムラインの整備及び検証と改善
実施主体	富山河川国道事務所、富山地方気象台、洪水浸水想定氾濫区域の自治体

大規模な水災害による被害を最小化するため、市町村長の避難勧告等の発令に着目した簡易な洪水対応のタイムライン(案)を作成し、台風接近等の事態に至った場合には、それに基づいて対応を実践するとともに、事後においては検証し改善を図ることとする。

【作成状況】

- ・平成29年6月時点で、常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川における直轄管理区間の洪水浸水想定区域の自治体(8市1町1村)において作成済



避難勧告の発令等に着目したタイムライン(高岡市:庄川)

カテゴリー	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施
内 容	川倉工、シート張り工、積み土のう工法の水防工法を実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

富山河川国道事務所と水防連絡会を構成する自治体の消防署等が参加し、水防団員への指導等を目的に、川倉工等の水防工法の訓練を行っている。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年5月19日（金）9：30～12：00
- ・ 場 所：富山市水橋入江地先富山防災センター前（常盤橋下流常願寺川右岸堤防付近）
- ・ 参加者：管内沿川7自治体、富山河川国道事務所、防災エキスパート（講師）等
- ・ 内 容：①川倉工
②シート張り工
③積み土のう工



川倉工



シート張り工



積み土のう工

(様式2-取組概要)

北陸地整

カテゴリ	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	水防技術講習会に参加
実施主体	国土交通省北陸地方整備局

水防技術に関する専門技術の習得と組織の中核となって習得した技術を普及する職員の育成を目的に“水防技術基礎講座（第1回～第3回）”に参加した。

【詳細】

- ・ 開催日：平成29年9月29日（金）、平成29年10月13日（金）、平成29年10月31日（火）
- ・ 場 所：福岡防災センター及び小矢部川左岸19.6km付近
- ・ 内 容：①講義 ②縄結び ③月の輪工 ④釜段工 ⑤水防マット工 ⑥木流し工 等
- ・ 参加機関：北陸地整、射水市、南砺市 等



縄結び



月の輪工



木流し工

(様式2-取組概要)

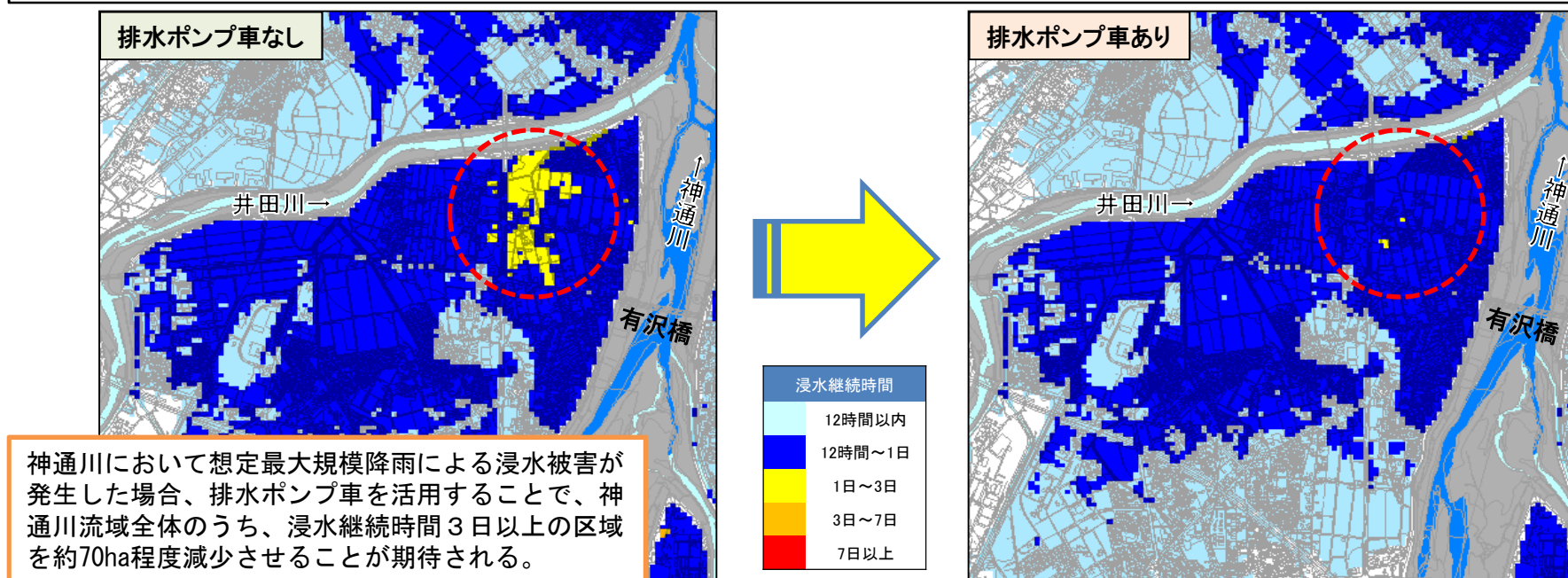
北陸地整

カテゴリー	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報提供、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成
内 容	排水ポンプ車の適切な配置計画などを定める排水作業準備計画を検討
実施主体	富山河川国道事務所

想定最大規模を対象とし、大規模氾濫減災協議会の取組方針並びに緊急行動計画に基づき、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成に係る、排水作業の準備計画に関する検討を進めている。

【詳細】

- ・ 実施河川：神通川及び庄川
- ・ 検討内容：想定破堤点破堤時における河道水位・浸水状況変化の把握
排水シミュレーション結果を踏まえた排水手順・配置計画の検討



(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリー	各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善
内 容	各関係機関が参画した庄川・小矢部川タイムラインの策定
実施主体	富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市 他

庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会（仮称）を開催し、検討に着手している。

【詳細】

- ・ 日 時：平成30年3月20日10:00～12:00 福岡防災センター2F会議室
- ・ 参加者：富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市ほか、計25機関が参加
- ・ 内 容：①タイムラインの概要とタイムラインの検討方法について
②タイムラインの想定するハザードについて
③タイムライン検討に向けた防災行動案の検討 ほか



カテゴリー	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備
内 容	内水被害の発生が予想される危険箇所を合同点検
実施主体	富山河川国道事務所、富山市、高岡市、射水市、小矢部市

内水被害が発生した場合の自治体応援を想定し、進入路、釜場、排水先、背後地の土地利用状況等について、自治体、委託業者と現地で合同点検を実施した。

【詳細】

1. 富山市との合同点検（神通川・井田川・熊野川）
 - ・実施日：平成29年6月29日（木）
 - ・場 所：仲井川水門、磯川水門、萩原水門 他9箇所
2. 小矢部市との合同点検（小矢部川・渋江川）
 - ・実施日：平成29年7月6日（木）
 - ・場 所：福町第二排水樋管、蓮沼第二排水樋管 他3箇所
3. 高岡市との合同点検（庄川・小矢部川）
 - ・実施日：平成29年7月31日（月）
 - ・場 所：地久子川樋門、四屋川樋門、千保和田川樋門 他2箇所
4. 射水市との合同点検（庄川・和田川・内川）
 - ・実施日：平成29年8月2日（水）
 - ・場 所：大門6号水門、二の丸川水門 他2箇所



カテゴリー	関係機関が連携した排水実動訓練の実施
内 容	排水ポンプ車設置訓練
実施主体	富山河川国道事務所

災害時に、自治体や他の地方整備局への迅速な支援を行うため、機器取扱の習熟、定期的な点検、施設管理者との連携強化等を目的として実施した。

【詳細】

1. 事務所所有の排水ポンプ車、照明車を使って定期訓練実施
 - ・実施日：平成29年4月21日（金）
 - ・場 所：富山防災センター
 - ・機 器：排水ポンプ車3台、照明車3台
2. 実際の実働を想定した現地での訓練実施
 - ・実施日：平成29年5月29日（月）
 - ・場 所：庄川（内川導水用水路）
 - ・機 器：排水ポンプ車3台、照明車3台



富山防災センター



内川導水用水路

(様式2-取組概要)

富山県・市町村

カテゴリ	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
内 容	河川施設点検の実施
実施主体	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町

沿川市町と共同で重要水防箇所等の点検を行った。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年5月23日
- ・ 参加者：富山県河川課、富山県立山土木事務所、富山市、滑川市、上市町、立山町
- ・ 内 容：① 河川管理施設の点検
② 重要水防箇所の周知
③ 水防備蓄資材の点検



河川管理施設(水位局及び量水標)の点検



河川管理施設(放水路分水堰)の点検



重要水防箇所の周知

(様式2-取組概要)

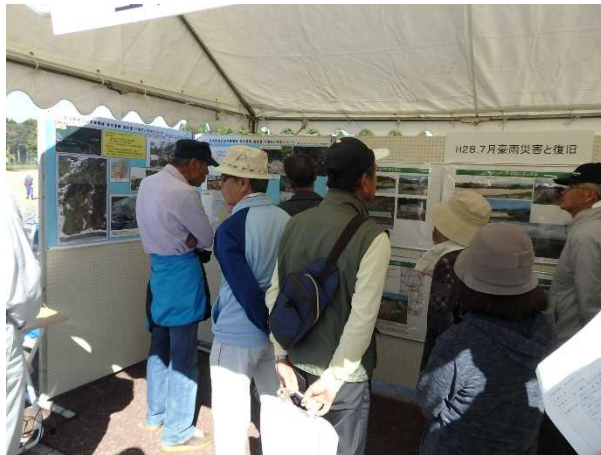
富山県・市町村

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内 容	県総合防災訓練の実施
実施主体	富山県、富山市、立山町

富山県立山土木事務所が参加し、平成28年7月豪雨の状況と災害復旧事業の広報を行った。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年9月30日
- ・ 参加者：富山県、立山町
- ・ 内 容：①平成28年7月豪雨の状況と災害復旧事業の広報



豪雨の状況と災害復旧事業の広報



豪雨の状況と災害復旧事業の広報



豪雨の状況と災害復旧事業の広報(立山町長)

(様式2-取組概要)

富山県

カテゴリー	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置
内 容	河川監視カメラの設置
実施主体	富山県

県民及び水防関係者に河川の視覚的情報の提供や、水位計故障時のバックアップ機能として河川監視カメラを設置した。

【詳細】

- ・ 工 期：平成29年7月13日～平成29年11月24日
- ・ 場 所：富山市水橋池田館地内
- ・ 内 容：①河川監視カメラ設置 N=1基
②量水標設置



河川監視カメラ 設置状況



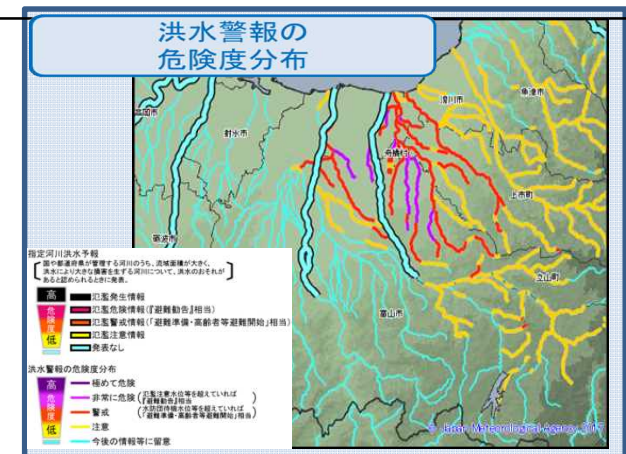
量水標 設置状況



土木事務所での監視状況

気象警報等に関連して「警報級の可能性」「危険度を色分けした時系列」及び「危険度分布情報」を平成29年度出水期から提供を開始しました。防災情報提供システムや気象庁HPで確認いただけます。

②「大雨警報（浸水害）の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供(7/7)



洪水警報を補足する情報で3時間先までの雨量予測を用いた流域雨量指数の予測値が洪水警報等の基準に達したかどうかを地図上に5段階に色分けして表示

(様式2-取組概要)

立山町

カテゴリ	③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内 容	出前講座等の活用
実施主体	立山町

常願寺川の洪水等がもたらす危険性を共有し、町民の防災意識を高め、河積を阻害している樹木を伐採することにより、防災対策を進めるとともに、伐採した樹木の有効活用により、循環社会への意識を高める。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年9月23日（祝・土）
- ・ 参加者：常願寺川流域住民ほか250人
- ・ 内 容：①基調講演「激甚化する気象と水防災について」
②パネルディスカッション「常願寺川の防災と環境」
③常願寺川河川内樹木の伐採体験



講演



パネルディスカッション



河川内樹木の伐採体験

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリー	平成29年度富山市水防訓練
内 容	川倉工・シート張工等の水防工法、人命救助訓練、住民広報訓練等を実施
実施主体	富山市

地域住民の生命、身体、財産を水害から守るため、関係機関相互の協力体制強化と水防工法技術等の錬磨を図ることを目的に、水防訓練を実施しました。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年5月27日(土) 8:00～9:00
- ・ 参加者：富山市、富山市消防局、富山河川国道事務所、富山土木センター、自主防災組織等
- ・ 内 容：
 - ① 水防工法
 - ② 人命救助訓練(孤立者救助)
 - ③ 自主防災組織による改良積み土のう工法
 - ④ 排水ポンプ車による内水排除訓練(展示)
 - ⑤ 住民広報訓練
 - ⑥ 災害対策車両等展示
 - ⑦ 非常食配給



川倉工法



改良積み土のう工法



人命救助訓練

(様式2-取組概要)

富山市・北陸地整

カテゴリ	排水ポンプ車稼働予定地を合同調査(神通川)
内 容	排水ポンプ車配備予定地の合同調査
実施主体	富山河川国道事務所、富山市

神通川左岸を中心に、排水ポンプ車配備予定地の合同調査を行い、危険箇所の情報共有や排水作業上の問題点・課題について、関係機関と意見交換を行いました。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年6月29日(木) 10:00～11:30 14:00～16:00
- ・ 参加者：富山河川国道事務所、富山市、藤川建設(株)(委託業者) 計12名
- ・ 内 容：① 危険箇所の状況確認・情報共有
② 排水作業上の問題・課題に関する意見交換
③ 「顔の見える関係」の構築



石坂樋門(市)



有沢水門(市)排水ポンプ場確認の様子



荒川樋門(国)周辺の状況確認の様子

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリー	富山市排水ポンプ車運転作業訓練を実施
内 容	富山市が所有する排水ポンプ車の作業手順等を確認
実施主体	富山市

富山市が所有する排水ポンプ車の迅速かつ適正な運用を図るため、排水業務委託先の排水ポンプ車の実働経験が少ない作業従事者を対象に、作業手順を確認する実働訓練を実施しました。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年7月28日(金) 9:30～11:00
- ・ 参加者：富山市、富山市建設業協会 会員39社63名
- ・ 内 容：① 排水ポンプ車運転作業手順の確認
② 排水ポンプ車の試運転
③ 富山河川国道事務所との合同調査でわかった排水作業上の注意点の共有



排水ポンプ車機材の確認



排水ポンプとホース・フロート取り付けの様子



排水ポンプ車の試運転

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリー	富山県防災士会との連携による自主防災組織等への支援(その1)
内 容	①防災士による自主防災組織へのアドバイザー派遣・防災講座 ②地域の防災リーダー育成研修会
実施主体	富山市

富山市内の自主防災組織等の支援のため、富山県防災士会との連携による取組を実施
【詳細】

- ・ 日 時 : ①H28年度 52回、H29年度2月末時点 54回
②平成29年9月27日(水) 19:00~21:00
- ・ 受講者 : 富山市内の自主防災組織
- ・ 内 容 : ①自主防災組織の実態・要望に合わせた、活動アドバイスや訓練の実地指導、防災講座などを実施
②・自主防災組織の活動事例や防災リーダーの役割、必要な知識等について(講義)
・災害時に自主防災組織がどのように対応したらよいかを時系列で具体的に考えていただく(イメージTEN)もの(図上訓練)



地域の防災リーダー育成研修の様子



(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリー	富山県防災士会との連携による自主防災組織等への支援(その2)
内 容	③市職員避難所運営訓練(HUG)の実施
実施主体	富山市

富山市内の自主防災組織等の支援のため、富山県防災士会との連携による取組を実施

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年10月16日(月) 午前・午後
平成29年10月17日(火) 午後の計3回
- ・ 受講者：富山市職員
- ・ 内 容：市職員が避難所運営に必要な知識や心構えを身につけるもの(HUG)



市職員避難所運営訓練の様子

カテゴリー	要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組
内 容	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
実施主体	射水市

- ・対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼、庁内の推進体制を確認した。
- ・対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始

【詳細】

H29. 8. 25 地域防災計画に位置付ける要配慮者利用施設を見直し（市防災会議）

H30. 2. 9 避難確保計画作成等推進に関する関係課会議開催

H30. 2. 15 対象施設への避難確保計画策定等義務化通知及び資料提供を開始

＜施設への主な提供資料＞

- ・事業所がある場所の河川氾濫時における浸水深の想定
- ・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き別冊（作成支援編・様式編）
- ・市の洪水害における避難勧告等の主な判断基準
- ・避難確保計画様式（射水市版作成例）
- ・緊急避難場所一覧
- ・市HP防災コーナーに「要配慮者利用施設避難確保計画作成支援」の項目を新設

(様式2-取組概要)

高岡市

カテゴリ	毎年度、関係機関が連携した水防訓練を実施
内 容	川倉工、月輪工、シート張工等の水防工法を実施
実施主体	高岡市消防本部、高岡市総務部、高岡市都市創造部

水防関係機関の士気高揚と水防技術の向上、相互の協力体制の強化を図るとともに地域社会に対する水防意識の啓発を目的とし、水防訓練を実施しました。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年6月3日(火) 8時30分～9時30分
- ・ 参加者：高岡市関係機関(消防本部、総務部、都市創造部)、富山河川国道事務所、富山県高岡警察署、陸上自衛隊富山駐屯地、西条校下自主防災組織連絡協議会 等
- ・ 内 容：① 川倉工
② 月輪工
③ シート張工 等



川倉工



月輪工



シート張工

(様式2-取組概要)

砺波市

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	住民の防災意識を高めるため、防災士による訓練指導等の実施
実施主体	砺波市

砺波市内3地区（油田地区、南般若地区、柳瀬地区）において、避難所が開設された場合を想定し、防災士の指導による、プライベートテントや仮設トイレの設営訓練を行った。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年8月20日（日）9：00～11：00
- ・ 参加者：油田、南般若、柳瀬地区住民
- ・ 内 容：避難所設営訓練（プライベートテント・仮設間仕切り・仮設トイレなど）



プライベートテントの設営訓練



仮設間仕切りの設営訓練



仮設トイレの設営訓練

カテゴリー	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施
内 容	水防工法訓練を実施
実施主体	水防団等

小矢部市総合防災訓練において、関係機関と連携して水防工法（積み土のう）訓練を実施しました。

【詳細】

- ・ 日 時：平成29年9月24日（日曜日）
- ・ 参加者：地域住民、消防団、消防署、市
- ・ 内 容：① 土のう袋作成
② 運搬
③ 積み上げ



設営



説明



実施

(様式3-新たな課題や取組)

◆自由意見(取組を進める中での課題や取組の提案など)

(富山地方気象台)

- ・市町村を対象に気象台が行うホットラインの周知と理解促進(課題)
- ・「危険度分布」の避難勧告等への活用促進(課題)
- ・市町村等防災担当職員の気象情報利用や防災対策への一層の理解促進(提案)